

な  
ぎ  
ちょう  
**奈 義 町**

3月議会

# 議会だより

あなたと議会を結ぶ広報紙

平成27年5月1日発行



## 自覚新たに頑張ります

(後列左より) 桑村由和・芦田一郎・安藤榮一・岡 立・中井泰洋  
(前列左より) 岡 親佐・岡部英生・小阪四郎・森藤政憲・鷹取 渡

**134号**

発行 奈義町議会  
編集 議会広報委員会  
〒708-1392  
岡山県勝田郡奈義町  
豊沢306-1  
☎(0868) 36-4191

### 【おもな内容】

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| ■議長、副議長あいさつ・議会の新体制 | 2 ページ      |
| ■新年度予算について         | 3 ページ      |
| ■3月議会・臨時議会         | 4 ~ 5 ページ  |
| ■予算委員会報告・政務活動費報告   | 6 ページ      |
| ■一般質問              | 7 ~ 14 ページ |
| ■組合議会の報告           | 15 ページ     |
| ■委員会報告・編集後記        | 16 ページ     |

# 議会基本条例を中心



長 小阪 四郎

このたび、不肖私、議員皆様のご推举によりまして、奈義町議会議長の要職に就くことになりました。私は、本町議員としての経験も浅く、また、浅学非才であります。

議会は重要な政策の決定と、行財政運営の監視という重大な役割のあることを自覚し、執行機関とは少し

間を持ち、つかず離れずを心がけ、町政の進展をめざして努力しなければならないと考えております。  
また、本年2月14日施行された奈義町議会基本条例を中心に、議会資質を高め、町民の皆様に信頼される議会、行動する議会を目指し、常に一步前、の精神で進みたいと考えています。

町民の皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

## 開かれた議会をめざす



副議長 岡部 英生

このたび、奈義町議会議員一般選挙が行われ、2月17日開催された第1回臨時会におきまして、議員の皆様から副議長のご推举を賜りました。その責任の重さに身が引き締まる思いであります。

このたび、奈義町議会議員一般選挙が行われ、2月17日開催された第1回臨時会におきまして、議員の皆様から副議長のご推举を賜りました。その責任の重さに身が引き締まる思いであります。

このたび、奈義町議会議員一般選挙が行われ、2月17日開催された第1回臨時会におきまして、議員の皆様から副議長のご推举を賜りました。その責任の重さに身が引き締まる思いであります。

このたび、奈義町議会議員一般選挙が行われ、2月17日開催された第1回臨時会におきまして、議員の皆様から副議長のご推举を賜りました。その責任の重さに身が引き締まる思いであります。

ります。今後は、副議長の職務を遂行し議長の補佐役として、町民の負託に応えるべく、誠心誠意、努力する所存であります。

本町も他の町村と同様、人口減に悩んでおり、その対策として、若者定住促進額など子育て支援策に取り組んでいますが、なかなか効果が見えてこないのが現状であります。

今後とも町民の皆様の温かいご支援ご指導をお願い申し上げ、副議長就任のご挨拶といたします。

## 委員会構成決まる

◎委員長 ○副委員長

(平成27年2月17日)

常任委員会	
総務	産業
◎岡親佐	◎鷹取渡
○安藤榮一	○芦田一郎
小阪四郎	岡部英生
森藤政憲	中井泰洋
岡立	桑村由和

議会運営委員会	議会広報委員会
◎森藤政憲	◎安藤榮一
○中井泰洋	○岡立
鷹取渡	森藤政憲
岡親佐	中井泰洋
	桑村由和

演習場対策特別委員会	定住化促進調査特別委員会
◎中井泰洋	○岡立
○安藤榮一	○桑村由和
岡部英生	森藤政憲
芦田一郎	鷹取渡
	岡親佐

監査委員 芦田一郎

(平成27年3月20日設置)

## 組合議会員

組合議会名	氏名	氏名	氏名
津山圏域消防組合(1名)	岡立		
津山圏域東部衛生施設組合(3名)	岡部英生	森藤政憲	安藤榮一
勝英衛生施設組合(2名)	小阪四郎	桑村由和	
勝田郡老人福祉施設組合(2名)	芦田一郎	鷹取渡	
勝英農業共済事務組合(2名)	岡親佐	中井泰洋	
津山広域事務組合(1名)	芦田一郎		
津山圏域資源循環施設組合(2名)	小阪四郎	鷹取渡	

## 平成27年度予算額

一般会計：34億7,000万円

特別会計：24億286万円

### 27年度予算の主な内容

#### ● 交通安全施設整備費

かきよねみつ

柿米光線橋りょう歩道部分

1,700万円



△ 柿米光線橋梁歩道部分

#### ● 鳥獣被害駆除奨励金

2,530万円



※その他

● 子育て応援・多子軽減事業

900万円

● 学校図書司書配備

187万円

● 起業支援事業交付金

200万円

### 特別会計等予算

会計名	予算額	会計名	予算額
国民健康保険	8億 240万円	分譲地造成	8,330万円
後期高齢者医療	7,200万円	土地取得	2,190万円
介護保険	7億6,060万円	下水道	2億6,400万円
豊並財産区	830万円	上水道事業	収益的費用 2億4,045万円
柿財産区	730万円		資本的費用 1億2,810万円
		工業用水道事業	1,451万円
	計		24億 286万円

(注) 全項目について四捨五入しています。

# 援券発行などを決定

3月定例議会は、3月10日から20日までの11日間開催され、条例19件、補正予算11件、当初予算11件、報告1件、同意3件、陳情1件、設置2件、選任2件、意見書1件、その他4件、合計55件を審議し、原案のとおり決定しました。また、8議員が一般質問を行いました。

## ※ 条例

- 奈義町指定介護予防支援等の基準を定める条例、奈義町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する条例ほか
- 教育長の給与及び勤務時間廃止する条例
- 奈義町委員会委員等報酬及び費用弁償支給方法条例、町長及び副町長の諸給与に関する条例、職員の給与に関する条例、奈義町議会委員会条例の各一部を改正する条例

- 奈義町立幼稚園預かり保育使用料徴収条例の一部を改正する条例、奈義町保育園設置条例の一部を改正する条例、なぎ放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例
- 奈義町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

（賛成8、反対1  
森藤議員）

この条例は、新しいク



この条例は、多子軽減制度の拡充を図るもので、第1子の年齢を18歳まで拡大し、第2子は、それぞれの利用料、使用料を半額に、第3子は全額減免する制度に拡充しました。  
(以上、全員一致)

（賛成8、反対1  
森藤議員）

リーンセンターの稼働に伴い、指定袋を導入するため、袋の価格を決めるものです。45ℓの袋で、20円となります。「町民の理解を得るうえで、時期尚早である。」として反対討論がありました。

## ○その他

奈義町行政手続条例の一部を改正する条例

この変更は、国の法律改正により、文章の表現方法を変更するものです。

平成27年度から29年度までの第6期計画で、65歳以上の介護保険料を値上げするものです。基準額（平均）で、月額4700円が6700円となります。

「値上げをしなければならない事情は分かるとしても、お年寄りにとって、負担増は大変。制度の欠陥である。」と、反対討論がありました。

（賛成8、反対1  
森藤議員）

有料となる指定ごみ袋

## 3月 定例議会

平成27年  
3月10日～20日

# 高齢者生活応 (65歳以上)

## 『補正予算』

## 『報 告』

・定森岩夫氏（柿）  
の5人を選任し同意しました。

- 一般会計（第7号）  
平成26年度歳入歳出それぞれ4700万円を追加し、総額51億2800万円となりました。

- 有害鳥獣駆除奨励金680万円を追加しました。

## 『一般会計（第8号）』

- 歳入歳出それぞれ4270万円を追加し、51億7000万円となりました。

## 『同 意』

### ○奈義町副町長の選任につき同意を求めることがあります。

森藤文典前副町長の退任にともない、有元清氏

（小坂・62才）

の選任に同意しました。  
○奈義町教育委員会委員の任命につき同意を求めることがあります。

任期満了にともない、入澤知子氏

（滝本・62才）

の任命に同意しました。  
○奈義町公文書公開審査会委員の選任につき同意を求めることがあります。

任期満了にともない、  
（以上、全員一致）

## 臨時議会報告

2月17日、第1回臨時議

会を開催。  
補正予算1件、報告1件、その他を審議し、原案のとおり可決しました。

## 『陳 情』

- 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択の要請について

- 全員一致で可決し、同主旨の意見書を提出しました。

（以上、全員一致）

## 『補正予算』

- 防衛施設周辺障害防止洪水対策事業（明治池用水路）の債務負担行為1600万円。（全員一致）

## 『報 告』

- 奈義つくし園増改築工事請負変更契約、増額70万円。（防水シート老朽化のため）

○その他に委員会等の議会構成を審議決定しました。



高齢者を応援

# 予算特別委員会報告



前議長  
井戸 賢一 氏

岡山県町村議会議長会表彰受賞

平成27年3月2日、岡山県町村議長会が開催され、副会長・監事として議長会の使命達成に貢献された功績により、井戸賢一前議長が表彰を受けました。

## 岡山県町村議会議長会表彰受賞

### 一般会計

Q..定住促進住宅（センター・ビルレッジ）は何世帯の入居を、予定しているか。

16・8%減)。  
特別会計予算、24億286万円としました。

### 主な質疑応答

A..償還金の7割分が、交付税に算入される。

Q..マイナンバー制度の情報管理は大丈夫か。

Q..過疎債は交付金として戻るとなっているが、その内訳は。

本年度の一般会計予算は、34億7,000万円（前年比6万円としました）。

3月12、13日に、予算特別委員会を開催し、平成27年度の予算を慎重に審議しました。

A..収入予算としては、約30世帯の入居を予定している。

A..健康福祉課で訪問調査・家庭訪問などに使用の予定。一人乗りの電気自動車である。



慎重に審議（予算委員会）

### 特別会計

Q..企業債を、安い金利の資金に変えられないか。

A..国から借りているのでできない。

Q..国民健康保険特別会計に法定外の繰り入れは。

A..国保運営協議会とも調整しながら、保険税の改正も含め検討しなければいけない。

Q..豊沢住宅跡地はどうなるのか。

A..将来的には、分譲宅地にと考えている。

Q..下水道の加入率はどのくらいか。

A..現在のところ67・7%であり、接続を呼びかけていく。

## 平成26年度後期分政務活動費一覧表 (平成26年10月～平成27年3月)

議員氏名	収支報告額(実績) 単位:円					支給決定額	政務活動費の主な使い道
	調査研究費	研修費	資料購入費	広報費	合計		
桑村由和					0	0	
中井泰洋	23,826		3,000		23,826	26,826	視察研修（広島市、尾道市）、資料購入費
岡立		3,070	5,038	11,920	20,028	20,028	研修費、広報費（「岡りつたより」発行）他
岡親佐					0	0	
鷹取渡			10,656		10,656	10,656	資料購入費（「地方議会人」購読料他）
安藤榮一				90,300	90,300	60,000	広報費（「安藤だより」発行）
芦田一郎					0	0	
森藤政憲			12,900	7,288	20,188	20,188	資料購入費、広報費（「森藤まさのり議会だより」発行）
岡部英生	10,976				10,976	10,976	視察研修（広島市、尾道市）
小阪四郎	10,976	3,070	21,548		35,594	32,356	視察研修（広島市、尾道市）、研修費、資料購入費
井戸賢一			4,500		4,500	4,500	資料購読費（「地方議会人」購読料）
計	45,778	6,140	57,642	109,508	219,068	185,530	

# 町政のあり方を問う

## 一般質問

**Q 保育園の拡充は**

**A 今後十分検討する**



岡 親佐 議員

**質問** 少しでも多くの児童を預かり、待機児童がでないような体制はとれないか。  
**答弁 町長** 入園希望者数に対応するためにも、定数の見直し、既存施設の増築や新築移転などを含めて、今後十分に検討していきたい。

**質問** 笠木新町長としてどのような企業誘致の推進対策を考えているか。  
**答弁 町長** トップセールスにより企業誘致を自ら先頭に立って進める。

**質問** 2号地、分割販売はできないか。  
**答弁 町長** 最大3分割までは分割が可能と考えております。企業の要請に対応していきたい。

**Q 新町長の企業誘致対策は**  
**A 自ら先頭で進める**

**質問** 農地中間管理機構は、手の面積と受け手の面積と一致しない場合はどういう対応になるか。  
**答弁 町長** 基本的には、

**Q 農地中間管理機構は適正な農地集積を実施する**  
**A**

**質問** 「人・農地プラン」を全地区で策定しており、「人・農地プラン」の中で再度、協議してもらうことが必要であると考える。  
**答弁 町長** 土地所有者から農業委員会に対しても、利用権設定の申請があれば、それを承認することが、農業委員会の役目である。



社屋建設中の果実工房（東山工業団地にて）

# Q 平成27年度 一般会計予算の中身は



岡部 英生 議員

## A 骨格予算として編成している

質問

**A Q** 職員の採用は  
毎年数名程度は  
採用したい

町の重要な施策である定住化促進事業、子育て応援事業、地域経済、雇用対策事業のほか、新たに起業支援補助金の制度化、子育て応援として多子軽減の拡充、地方創生事業などを推進する。また、行財政改革の取り組みは、地方人口ビジョン総合戦略の策定を行い、引き続き健全財政を維持するため、行政改革を推進する。

笠木町長の最初の予算編成だが、町民が豊かさを感じできるまちづくりに力を点を置いた予算編成になっているのか。

**答弁 町長** 予算総額34億7000万円の骨格予算とした。

質問

笠木町長の最初の予算編成だが、町民が豊かさを感じできるまちづくりに力を点を置いた予算編成になっているのか。

職場もあるが新たに職員を採用する考えは。

**答弁 町長** 職員定数もあるが、優秀で、やる気のある職員を毎年数名程度採用したい。また、受験年齢の引き上げや障害者の雇用など、採用枠を広げていくことも検討したい。

質問

町民のニーズが多様化する中で、各課の人員配置の見直し、職員の足らぬ

質問

**A Q** 環境基本計画の見直し状況は  
結する

**A** 平成27年度で完結する

これまでの見直しの取り組み状況と、平成27年度の計画は。また、主な基軸プランは何か。

質問

これまでの見直しの取り組み状況と、平成27年度の計画は。また、主な基軸プランは何か。

町民のニーズが多様化する中で、各課の人員配置の見直し、職員の足らぬ

**答弁 町長** 保険料の値上がりの要因は、入所、入居系施設サービスが県下で高水準であり、入所や入居がしやすい環境である。それにかかる介護給付費の大幅な増加が考えられる。

町民へは、介護予防や健康づくりの啓発を含めて、各地区への説明会を実施し理解を得たい。

**答弁 町長** 平成26年度は環境に関する町民アンケート調査と環境基礎調査を実施。平成27年度は、環境の保全に関する施策、計画目標の設定を定める基本計画案の作成など。新たな取り組みとして太陽光発電などエネルギー、PM2・5の空気汚染、そしてごみの減量化などを追記する計画で

**答弁 教育長** 幼稚園の預かり保育は61名、小学校の放課後児童クラブは40名であり、昨年度より利用者が増えている。平成27年度は更に増えると予想される。土曜日の預かり保育をはじめ、施設拡充や支援員の確保が必要と考え、検討に入っている。

また、使用料については、平成27年度より多子軽減の拡充にて利用者の負担軽減を図りたい。

**A Q** 介護保険料の値上げの要因は何か  
A 加

**質問** 介護保険制度の見直しに伴い保険料が月平均700円が、6700円と2000円上がるが、その要因は何か。また、町民の理解を得るには丁寧な説明が必要不可欠であると思うが。

**質問** 介護保険制度の見直しに伴い保険料が月平均700円が、6700円と2000円上がるが、その要因は何か。また、町民の理解を得るには丁寧な説明が必要不可欠であると思うが。



土曜日受け入れが待たれる預かり保育



森藤 政憲 議員



満杯状態の保育園

**質問** 今、保育園が満杯状態である。今後、希望者も増えると思うが、当面、待機児童を作らないよう努力するとともに、長期的な対策を考える必要があるのではないか。

**答弁 町長** ご指摘のように、現在、満杯状態であ

## Q 町民に役立つ事業は率先して取り組むべきでは

## A 財政も考慮しながら、前例がなくても頑張る

**質問**

笠木新町長の基本姿勢について問う。

①道州制に対する考え方は、また、「全国小さくても輝く自治体フォーラム」への参加は、②町民に役立つ事業は、全県、全国に先駆けて実施する意欲は、③無駄なハード事業より、教育、福祉を大切にしたソフト事業を重視すべきではないか。

**答弁 町長**

①道州制には断固反対である。フォーラムには積極的に参加したい。

②町民に役立つ施策は、財政の事も考えながら、前例がなくとも積極的に推進したい。③必要なハード事業は行うが、ソフト事業もバランスを取りながら進めたい。

**Q** 満杯状態の保育園の今後の対策を施設の拡充などを検討したい

る。今後、保育定数の見直し、施設の拡充、新築移転等々、検討を加えたい。

**Q** 安倍内閣の集団的自衛権の動きは危険と思うが

これまでの考えの延長と理解しているが、戦争になるような事態は避けて欲しい

**質問**

政の事も考えながら、前例がなくとも積極的に推進したい。③必要なハード事業は行うが、ソフト事業もバランスを取りながら進めたい。

**質問**

集団的自衛権容認の動きが強まっている。日本は戦争をするような国に向かっていると思うがどうか。

**質問**

また、戦後70年を記念して、町として何か催しを行ってはどうか。

**答弁 町長**

これまでの延長線上にあるように感じるが、日本の国が戦争をするような事態は避けなければならない。

**答弁 町長** 戦後70年の取り組みについては、中学校の戦争体験の文集（昭和50年発行）などを紹介してみたい。

**Q** 高齢者への生活応援券は今後、どうなるのか

3年間は継続したい

**質問**

平成27年度から介護保険料が大幅値上げとなる。値上げせざるを得ない事情は分かるが、お年寄りの負担の事を考えると容認できない。少しでも負担を軽くするため、全県に先駆けて

生活応援券が65歳以上の全ての高齢者に無料配布されるが、今後はどうなるのか。

**答弁 町長** 値上げは、高齢者には、厳しいものと理解しているが、苦渋の決断をした。生活応援券は、3年間は支給したい。

その他、「さんぶ太郎」の取り組み、米価の価格補償について等を質問した。

## Q 人口減少に対する取り組みについて



桑村由和 議員

### A さまざまな対策をとって がむしゃらにやるしかない

**質問** 三十代や定年後のUターンを推進してはどうか。  
**答弁 町長** 三十代は一般的に子育て真っ最中、働き盛りの世代であり、この世代の定住化を図るには、子育て支援、教育環境の整備、雇用の確保の対策が必要である。あらゆる世代の方が住みたいと思える町づくりを進めることができ、単独町制を歩む本町にとって最も必要と考えている。

**質問** 『職場は町外でも、住むのは奈義町』を推進してはどうか。

**答弁 町長** 広域的な雇用環境の整備と合わせ、魅力的な子育て支援や住宅施策等を推進し人口の維持を図りたい。



有害鳥獣防護電気柵

**質問** 日本原駐屯地の人員と演習場の今後の利用方法について。  
**答弁 町長** 中期防衛力整備計画では、本州の戦車隊の廃止や特科隊の集約が計画されており、人員削減が危惧される。今後、さらに利便性の高い演習場となるように関係地区の皆さんの理解を得ながら、自衛隊との

**質問** 奈義町ホームページの更新は定期的に行う必要がありますが、ふるさと納税の礼の品について。  
**答弁 町長** ホームページの更新は定期的に行う必要がありますが、ふるさと納税の礼については肉などに特産品を組み合わせることを検討する。

**質問** 合計特殊出生率の目標を設定してはどうか。

**答弁 町長** 本町は、現在2・11で全国平均より高いので現状を下回らないよう、出産、育児施策の充実を図っていく。

**質問** 筆補助についてどう考えているか。

**答弁 町長** 当該補助金については、各種団体の補助金を活用しているため、採択要件を満たす必要があるが、個別案件は、相談いただきたい。

共存を進め、隊員削減の問題について取り組んでいくたい。

**Q 有害鳥獣対策について**

**A 各種補助金を有効に利用してほしい**

**質問** 有害鳥獣駆除を行う人の高齢化対策について聞きたい。

**答弁 町長** 新規免許取得者への町の補助制度の検討を行い、狩猟者の確保、育成に取り組んでいく。

**質問** 有害鳥獣防護柵の一

**Q 日本原自衛隊の今後の動向について**

**A 隊員減にならないよう要望していく**

**質問** 日本原駐屯地の人員と演習場の今後の利用方法について。  
**答弁 町長** 中期防衛力整備計画では、本州の戦車隊の廃止や特科隊の集約が計画されており、人員削減が危惧される。今後、さらに利便性の高い演習場となるように関係地区の皆さんの理解を得ながら、自衛隊との



ふるさと納税  
こちらから、お札の内容が見えます

### Q 奈義町ホームページについて

**A 有効に利用して町の魅力を全国に発信していく**

**質問** 奈義町ホームページの更新とふるさと納税のお礼の品について。  
**答弁 町長** ホームページの更新は定期的に行う必要がありますが、ふるさと納税のお礼については肉などに特産品を組み合わせることを検討する。



中井 泰洋 議員



お試し住宅準備中

質問 田舎暮らし、田舎体

Q 「奈義町にきん  
ちゃいキャンペ  
ーン」を  
全国に情報発信  
をする

## Q 今後のまちづくりは

## A 行政と町民の役割分担を

質問

町長の就任あいさつの中に「個性を發揮した施策を開発し、創意に満ちたまちづくり」と書かれているが、どのような考え方か。

答弁 町長 将来を担う子供たちが夢と希望を持ち、健やかに育つためには、『活力と笑顔があふれるまちづくり』

が必要と考えている。

既成概念にとらわれず今後、町民皆さんとのニーズやアイディア等を聞き、優先順を考え取り組みたい。

また、行政と町民の役割分担を再認識して、それぞれの得意分野で力を発揮できるような協働のまちづくりを検討していきたい。

町長ページについていく。

Q 情報発信に努める  
PRは

お試し住宅の、  
あるべき姿は

ホームページについても見やすいページにしていく。

質問 お試し住宅を町外、特に都市部に対して情報発信をしてはどうか。また、奈義町のホームページでも

一目で検索できるようにならないか。

答弁 町長 定住促進住宅の2室を、お試し住宅として確保した。

P Rの方法は、町ホームページ、移住相談会、ライセン、フェイスブック等を活用しながら広く情報発信に努めたい。

ズム等の考えで仮称『奈義町にきんちゃいキャンペーン』を行い、全国発信ができるのか。

Q 20年・30年後の  
あるべき姿は  
A 住みよい・住みた  
い町を目指して

いくためには、20年、30年後のあるべき姿、ビジョンを考えるべきと思うが、町長の考えは。

答弁 町長 いつまでも、奈義町という名を残し、住みよい町、住んでみたいと思える町が、あるべき姿だと思っている。今後も、子育て支援、移住・定住、雇用の創出を柱として取り組んでいきたい。

質問 インターネット料金の引き下げについて、前回の質問から2年が経過したが、その後は。

答弁 町長 県北6市町村で要望書を提出している。現段階では、文書による正式な回答は得られていない。今後とも、他市町村と連携していきたい。

Q インターネット料  
金の引き下げは  
A 県北6市町村で要  
望書を提出した

質問 インターネット料金の引き下げについて、前回の質問から2年が経過したが、その後は。

答弁 町長 県北6市町村で要望書を提出している。現段階では、文書による正式な回答は得られていない。今後とも、他市町村と連携していきたい。

# Q まち・ひと・しごと創生 総合戦略の柱は



鷹取 渡 議員

## A 人口の維持・増加に向けた事業を

質問　国において「まち・ひと・しごと創生法」が施行された。人口減少に歯止めをかけ、国や地方の政治や経済が停滞することなく、発展させていくための総合戦略だが、奈義町版の最重要課題はなにか。

答弁　町長　昨年末の閣議決定を受け、「奈義町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」を設置し、担当窓口は総務課になる。地方創生型と地域消費喚起・生活支援型の交付金事業となる。

本町の人口維持・増加に向けた事業を行っていきたい。

なぎの里活性化支援券に、更に10%のプレミアムを上乗せし、1万円で1万2000円の買物ができる地域振興券を2500冊発行する。

また、65歳以上の方に、

券の発行や65歳以上の高齢者全員に生活応援券が支給されるようだが内容や期間について伺う。

質問　「なぎの里」活性化支援券の発行や65歳以上の高齢者全員に生活応援券が支給されるようだが内容や期間について伺う。

答弁　町長　昨年末の閣議決定を受け、「奈義町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」を設置し、担当窓口は総務課になる。地方創生型と地域消費喚起・生活支援型の交付金事業となる。

本町の人口維持・増加に向けた事業を行っていきたい。

なぎの里活性化支援券に、更に10%のプレミアムを上乗せし、1万円で1万2000円の買物ができる地域振興券を2500冊発行する。

また、65歳以上の方に、

質問　国において「まち・ひと・しごと創生法」が施行された。人口減少に歯止めをかけ、国や地方の政治や経済が停滞することなく、発展させていくための総合戦略だが、奈義町版の最重要課題はなにか。

答弁　町長　昨年末の閣議決定を受け、「奈義町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」を設置し、担当窓口は総務課になる。地方創生型と地域消費喚起・生活支援型の交付金事業となる。

本町の人口維持・増加に向けた事業を行っていきたい。

なぎの里活性化支援券に、更に10%のプレミアムを上乗せし、1万円で1万2000円の買物ができる地域振興券を2500冊発行する。

また、65歳以上の方に、

質問　生活応援券として1万2000円分の商品券をお配りする。高齢者生活応援券は3年間は継続する。

答弁　町長　観光専門員や地域おこし協力隊を採用し新たな視点で魅力発進せるか

質問　奈義町の観光は、雄大な那岐山や滝山の登山、菩提寺の参拝、大銀杏の見学が中心である。近年になって現代美術館やビカリアミュージアム、山の駅などができる。昨年は新しいトレッキングコースも整備された。観光振興のため専門員を採用する計画になっているが、どのような人材を求め、どんな仕事をしてもらうのか。

答弁　町長　本年は観光専門員と地域おこし協力隊員2名を公募し、地域振興センターに配置。観光協会とも連携して、那岐山麓一帯

を利用した滞在型観光メニューを作ったり、新たな視点で奈義町の魅力や特産品を全国に発信してもらいたい。民泊についても考えてみたい。



法然上人修行の菩提寺



遊歩道に完成した吊り橋



安藤 榮一 議員

## Q 生活支援センター事業の導入を

### A 体制の整備を図る

答弁  
町長

森林組合、町

質問

本町の森林の管理とその活用は充分とは思えない。豊富に存在する森林資源を活用した地域づくり、林業振興等についてどのように考えているか。

A 森林機能の維持につとめる

Q 森林保全と林業振興は

要支援者へのサービス事業が、平成29年4月から、生活支援型事業として町が行なうことになった。高齢者の皆様が安心して利用できる体制に整えていきたい。

介護保険制度の見直しで、高齢者の生活上の困り事を同世代が支える事業など一部のサービスが町の事業に移される。登録した会員が掃除や買物などで高齢者を支援する、生活援助型事業の導入を検討してはどうか。

答弁  
町長

要支援者への

サービス事業が、平成29年4月から、生活支援型事業として町が行なうことになった。高齢者の皆様が安心して利用できる体制に整えていきたい。



有効活用が待たれる森林

内外の林業関係者と連携を図り、経営計画により、補助事業を有効活用し、造林意欲の向上と負担軽減に努め、地域の実情に合った森林機能の維持に取り組んでいきたい。

Q 道徳教育の充実、強化は  
A 計画的に取り組む

答弁  
教育長

道徳教育の一層の取り組みの充実を図つ

質問

子どもに与えるスマートフォンに潜む危険性などについて尋ねる。

A 適切利用へ取り組む

Q スマホへの対応は

学習指導要領に示されている道徳教育の充実について、今までの成果と今後の対応はどうか。

答弁  
教育長

道徳教育の充実に学校も努力して取り組んでいる。すぐに成果は表われるものではないため、一つ一つの教育の積み重ねにより、子どもたちが心豊かな人間に成長する事を期待している。道徳の教科化に伴い、今後計画的に取り組んでいく。

答弁  
教育長

いろいろな取り組みをしているが、全てのリスクに対応できるのではないかとのことで、今後も関係者皆様のご協力をいただき、スマートフォンの適切な利用へ

## Q 観光と文化財の今後は



岡 立 議員

**質問** 今年は地方創生元年。奈義町の計画の中にも、観光のレベルアップが取り上げられている。たくさんの観光客に来てもらうために、見てもらう物や場所の掘りおこしが必要になる。その一役を文化財に担ってもらうのはどうか。現在、文化財の管理は、所有者に任せられており、なかなか手入れができるいない状態の所が多い。文化財だけで観光地になるとは思っていないが、すべてが多様化している現代、いろいろな物、場所を組み入れる必要がある。まずは、文化財の手入れから始めてはどうか。

**答弁 町長** 文化財を活用するためにも、"史跡ロマントマップ"を作成する等も必要と考えている。今後、関係者の協力をいただきながら検討していきたい。また、今年度から観光専門員を雇用することになつてるので、そういう事をすべて検討してもらう予定である。



奈義町のシンボル “那岐山”

であるが、人員確保には苦労もある。有事の時だけ出勤してもらう機能別消防団員制度もあるが、問題点もあり、今後の検討が必要と考えている。団員はメリットもないなか、頑張つていながら、とにかく町民みんなが、感謝の念を持って、消防団員を応援してほしい。

**質問** 現在、消防団は、各地区にあり、日夜私達の安全を守ってくれているが、人員確保には苦労をされていない。消防団は、各地区にあり、日夜私達の安全を守ってくれているが、

**Q 消防団員の現状と今後について**  
**A 機能別消防団員等、検討の必要がある**

いる地区もあるときく。今後の人員確保について、何か考えがあるか。また、団員OBなどの協力してもらえるような計画はできないか。

**答弁 町長** 奈義町になくてはならない消防団



頑張る消防団（3月22日操法大会にて）

# 組合議会の報告

## 消津防山組合域

2月19日、2月定例会を開催した。

4280万円となつた。  
なお、安藤榮一議員が副議長に選任された。  
(岡部、森藤、安藤議員)

## 施設英衛組合生

平成27年度予算22億7900万円を決定した。また、平成26年度補正予算52万9000円を追加し、33億9213万円とした。奈義町の分担金は7760万円である。

なお、同日、消防組合久米南分署、旭出張所を視察。懸案事項である、古くてせまい等の問題点を確認した。  
(岡立議員)

## 平成27年度勝英衛生施設組合の一般会計予算

2月25日に定例会を開催。平成27年度勝英衛生施設組合の一般会計予算1億1700万円と決定した。本町の分担金は1769万円、し尿処理量は、2578 kℓとなつてある。

なお、小阪四郎議員が副議長に選任された。

## 事津務山組広合域

2月19日、定例会が開催された。

一般会計予算、2885万円、ふるさと振興事業特別会予算1271万円を決定した。

(芦田議員)

## 事務英農業共合

2月25日、組合議会定例会が開催され、平成27年度予算3億6680万円を決定した。

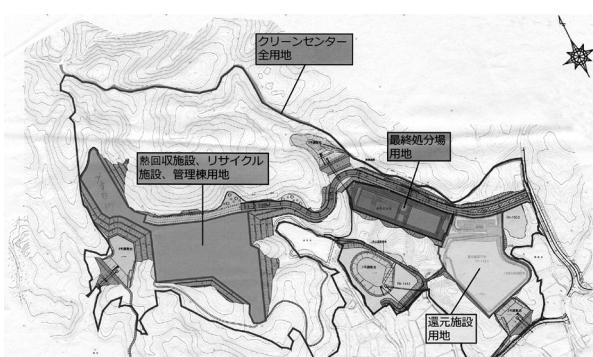
(芦田、鷹取議員)

## 衛生施設組合

3月5日、平成27年第1回定例会が開催され、一般会計予算、

2億500万円の予算を決定した。奈義町の分担金は12

施設配置図



## 津山圏域資源循環施設組合

2月20日、定例会が開催され、平成27年度予算を32億3630万円と決定した。奈義町の分担金は、33317万円となつた。  
本年12月の稼働に向けて、順調に工事が進んでいるとの報告があつた。  
(小阪、鷹取議員)



工事が進む津山圏域クリーンセンター

(15) 奈義町議会だより 134号

# 委員会報告

## 総務常任委員会

3月4日、所管事務の調査を行った。主な質疑は次のとおり。

問..多子軽減の内容は。

答..第1子を高校生までに拡充し、放課後児童クラブ、幼稚園授業料、預り保育、保育園保育料を、第2子は半額、第3子は全額免除する。

問..「まち・ひと・しごと・創生ビジョン」に、町民の意見を反映するのか。

答..部会を設置し20名程度で各年齢層に参加してもらい町民の声を入れる。

問..プレミアム商品券、高齢者支援券の換金方法は。

答..農協の窓口で、即日換金できるよう話を進めている。

問..地方創生先行型事業の内容は決まっているか。

答..27年、28年で、8事業



小・中学校に司書配置

を計画、詳細計画は、これから検討していく。  
問..ふる里納税のお礼の品に米を検討したら。

答..菜の花米等で検討しているのか。

問..指定ゴミ袋の有料化のねらいは。  
答..ゴミ袋料金を4町で統一し、町名を入れて、透明で中味が見えることが基本的な考え方である。

問..廃プラ処理は農協が主体となるのか。  
答..農協と調整済み。場所

している。

について検討中である。

## 産業常任委員会

3月6日、委員会を開催し、所管事務の調査を行った。主な質疑は次のとおり。

問..中央広場のテントの使用目的は何か。

答..イベント等の本部とか雨等の緊急避難場所・スポーツ等の休憩所等。

問..発注済みの事業は分るが3月定例会の前には、新

年事業の予定も知りたい

答..来年度から、新年度の資料も提出する。

問..国道の歩道の段差解消は進んでいるが、拡幅の計画はないのか。

答..27年、28年で、8事業

問..保育園の待機児童が出ないような対応を。  
答..保育士の確保や定員数、面積を加味しながら検討する。  
問..学校の図書館司書は。  
答..小・中学校に図書館の司書を置く。

## 編集後記



〔編集委員〕	
委員長	安藤 榮一
副委員長	岡 勝立
委員	森藤 中井
委員	桑村 四郎
議長	小阪 泰洋
議長	由和政憲